

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	小川 淳治
----	--------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した病院経営に向けての経営強化プランを策定し、安定経営を目指す。 ・各診療科等の医療従事者に様々な情報発信と共有化を図り安全な医療を提供する。 ・庶務課職員は常に病院経営を意識しながら業務を遂行する。 ・庶務課職員は、日頃から人身の体調管理と感染対策に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
公立病院改革等への対応	経営改革プランの後継計画として公立病院経営強化プランを策定する。	公立病院改革のさらなる推進を図るため、国から示された公立病院経営強化ガイドライン等に基づき、公立病院経営強化プランを策定し、病院事業経営の強化に取り組み経営の健全化に繋げる。	◎	経営強化プランの策定にあたり、令和5年2月28日に開催された埼玉県南部地区地域医療調整会議で経営強化プラン(案)の説明を行い了承を受けた。
障害者雇用の促進	障害者活躍推進計画に基づき安定した障害者雇用を目指す。	法定雇用率2.6%の達成に向け、ハローワークや障害者就労移行支援事業所と連携しながら障害者の雇用確保に努める。	△	新たな障害者雇用の拡充に向け、ハローワークやホームページを通じた募集の他、就労実績のある障害者就労支援センターの相談員と情報共有を図りながら採用活動を進めたものの新たな採用には至らなかった。
公衆衛生活動収益の向上	各種健診業務、予防接種予約枠を拡充する。	特定健診等の健診予約枠の拡充と、コロナワクチンの春夏・秋冬接種を行うた特別接種体制を整えなが接種を行い収益確保と感染症防止に努める。	◎	健診等の予約枠を増やしたことにより、特定健診・後期高齢者健診では前年度より124人増の985人、各種がん検診でも174人増の2449人と増加した。また、新型コロナワクチン接種では、令和5年度7,881件の接種を行い、令和2年度から始まった接種の通算件数が39,926件と公衆衛生活動収益の確保に努めた。

医療従事者の確保と充実	市民に安心・安全な医療を提供するため、医療従事者の確保に努める。	診療体制の充実のため、医療従事者(医師、看護師、医療連携担当職員)の確保を図り安全安心な医療を提供し収益の向上を目指す。	○ 常勤の整形外科医師が退職したものの、非常勤医師を雇用し整形外来の診療体制の維持に努めた。また、医師の働き方改革の影響により令和5年度末を持って大学からの派遣が終了となる麻酔科や呼吸器科の医師について、新たに非常勤の麻酔科医師3名、呼吸器科医師1名を確保した。このほか、新卒看護師3名を採用するなど医療体制の維持に努めた。
診療報酬改定への対応	令和6年度の診療報酬改定に向けた迅速な対応	診療報酬改定により新たに評価される項目に対し院内関係各科との連携を図り、多くの施設基準の届出を行い収益確保に繋げる。	○ 令和6年診療報酬改定に向けた情報収集に努め、院内の医療従事者、委託職員を対象とした診療報酬改定説明会を令和6年3月28日に実施した。
病院建設の検討	蕨市立病院施設整備検討委員会において病院建設に向けた検討を行う。	病院建設に向けた建替案の検討を進め建設検討報告書を取りまとめる。	◎ 蕨市立病院施設整備検討委員会にて建替え案の検討を進め、令和5年11月に市立病院の耐震化は移転建替えとし、移転候補地を西公民館並びに松原会館を含む一体的な敷地とする方針案を示すとともに、蕨市立病院整備検討審議会への諮問と審議会からの答申、更には市内5地区で開催した市民説明会でのご意見等も踏まえ、年度末に移転建替え方針案の正式決定に至った。

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 看護科	看護部長	白畑 多加江
----	--------------	------	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての倫理観・知識・技術をみがき、看護の質向上に取り組む ・チーム医療を推進し、効果的な看護の提供を図る ・社会の変化に柔軟に対応し、健全経営に看護の視点で参画する

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病床稼働の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な病床コントロール ・救急搬送応需の向上 ・急性期患者のスムーズな受け入れ 	限りある人材、資源を活用し、チームとして協働体制をとり病床稼働を上げる。	△	専科に限らず、3・5階共に協働し積極的な入院の受け入れ態勢はできているが、整形・外科オペ件数が減った影響から、3階病棟の利用率が低く、50%台を推移した。
感染対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19感染症5類移行の対応 ・再拡大に備えた平時からの感染管理活動 	院内の感染防止と発生時の速やかな制圧のために、看護科組織として感染対策を推進する。	◎	5類移行後は、外来、病棟共に感染対策を遵守し柔軟に対応できており、感染管理活動は定着したといえる。感染管理認定看護師が地域医療機関と情報を共有している。
スタッフ育成 能力開発	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理を基にした能力開発 ・キャリアラダーに則った教育実践 ・新人看護師、既卒中途採用者教育 	目標管理に基づいた実践行動による主体性の発揮組織の一員としての創意・責任を果たす。	○	目標管理制度を導入して3年経つが、期初目標の連鎖、計画の具現化は未だ十分でない。今年度、早期からの管理者教育に取り組む必要性からマネジメントラダーを作成した。
ワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化タイムマネジメント ・定期的な目標管理面接・ヒアリング ・入職者・異動者の精神的支援 	働きやすい・働きがいのある職場環境をつくる。	○	タイムマネジメント研修、セルフケア研修を実施した。職員ヒアリングを実施し、意見聴取し業務改善につなげている。

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	濱浦 睦雄
----	--------------	------	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に細心の注意を払い、患者にとって有効かつ安全な薬物療法に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。 ・蕨市の中核病院として、医療・福祉に必要な医薬品の安定供給に努める。 ・退院後も地域において必要な薬物療法が継続されることを目指し、薬剤業務の充実を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病棟薬剤業務の充実化	適切な薬物療法が地域で切れ目なく継続されることを目指し、ポリファーマシー対策および入退院時の情報共有を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリファーマシー対策が必要と考えられる患者に対し、優先的に介入する。 ・入退院時の効率的な情報共有方法について検討を継続し、薬剤管理サマリーを発行する患者を増やす。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリファーマシー対策については、対象となる患者に優先的に介入するとともに、退院決定時に病棟医事担当者に連絡する体制を構築したことで、診療報酬の算定数も増加したが、マンパワーの不足により介入できなかった場合もある。 ・退院時の情報共有に関しては、退院時薬剤管理指導実施件数、退院時薬剤情報連携加算算定数とも増加したが、薬剤管理サマリーの記載方法について効率化が必要である。
外来調剤業務の充実化	外来患者に対する情報提供体制を充実させる。	待ち時間に配慮しつつ、おくすり手帳の普及・活用推進の立場から、現行は希望者のみに発行しているおくすり手帳用のシールを全患者に発行する。	○	おくすり手帳用のシールは、概ね全患者に発行できているが、待ち時間は増加し、処方変更時の内容説明は必ずしも十分に実施できているとは言えない。
ジェネリック医薬品およびバイオ後続品の導入促進	患者の経済的負担および医療費削減に寄与するジェネリック医薬品およびバイオ後続品を導入する。	供給困難等で先発医薬品に変更した品目について、流通状況が改善次第、ジェネリック医薬品への再変更を検討する。	△	出荷調整となっている医薬品の割合は、先発医薬品よりジェネリック医薬品の方が高く、ジェネリック医薬品への変更が困難な状況である。

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。 ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。 ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。 ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
院外勉強会	医師会・放射線技師会が主催する学会・勉強会の参加	最新医療技術の知識習得を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上部消化管読影勉強会の参加 ・CT・MRI撮影技術勉強会の参加
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断における読影の補助 ・医師・他部署との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る。 ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全に検査ができるよう努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師へ検査所見の情報提供 ・消化管検査・乳腺検査の技師所見レポート作成 ・看護師と密に連絡を取り合い検査時間、待ち時間の短縮
医療被ばく線量管理	被ばく線量管理の義務化に伴い指針を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線診療に従事する職員の研修を実施する。 ・被ばく線量の管理・記録をおこなう。 	○	研修を1年度あたり1回以上開催し、さらに必要に応じて定期的な開催とは別に臨時に開催
医療機器性能評価	各医療機器メーカーの特性を習得する。	最新医療機器の有効性・安全性についての知識を学ぶ。	○	国際医用画像総合展に参加

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	高木 章美
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する。 ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける。 ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない。 ・検査科として関われる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会・埼玉県医師会等主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする。 ・平成31年4月1日付けで承認・更新された日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証承認基準を維持する。 	◎	日本臨床衛生検査技師会主催の外部精度管理事業に参加し、評価対数194件中、A・B評価は194件、100%であった。(日臨技施設認証基準はA・B評価が90%以上)日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証基準を維持する目標を達成できた。令和6年6月には日本臨床衛生検査技師会「品質保証施設認証」を取得出来た。
機器・試薬の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する。	日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行う内部精度管理データの検証により、機器・試薬に依存する検査データの不具合防止に努める。	○	日常の始業点検・定期点検に加え、毎日行う内部精度管理データの検証・稼働中の機器の状況(異音・エラー音などの作業中の情報)を早期に発見することにより、検査データの不具合等はおおむね防止できた。
医療法改正に伴う検査室の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法等の一部改正に伴う、臨床検査における品質・精度の確保等、検査室の整備・対応 ・高度な医療情勢に対応するための適切な研修の実施及び参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省から示された検査室の整備基準に従い、全ての検体検査測定・検査機器保守管理等の標準作業書、各作業日誌、試薬管理台帳等の整備及びその管理運営を引き続き継続・検証・改善に努め、病院内で求められるニーズへ対応する。 ・院内・院外・科内等、種々の研修に参加することにより個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップを目標とする。 	○	整備基準に従い、適切な対応を図ることができた。院内・院外・科内等、種々の研修に参加し個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップができた。

医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行う。	検査業務に関わる医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有しその発生防止に努める。また、従来の医療安全の考え方の上に、各自が判断し臨機応変に対応するため個人の調整能力向上に努める。	○	大きなアクシデント等もなく、適切に医療安全管理を行った。
試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う。	引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。パンデミック時の検査試薬の確保に努める。	○	試薬・消耗品の変更及び外注項目の院内検査への変更等を検証し年間コストの削減に貢献できた。また、入荷困難時にも迅速に対応し試薬、消耗品の欠品を防いだ。
チーム医療	感染制御・医療安全等チーム医療への参加など臨床支援に関わる。	検査科として関われるチーム医療で、積極的な支援を継続する。(感染制御チーム、医療安全推進チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)	○	各チーム医療において、検査科からの視点で意見を積極的に述べる事ができた。新型コロナウイルスについての情報発信をすることができた。
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う。	大震災の教訓を生かし、非常事態時における種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する。	○	普段より危機的状況を意識し、機器の設置・固定や無駄にならないような試薬等の備蓄、在庫管理を実行した。
患者サービス	検査科として出来る患者サービスを勘案し、積極的に取り組む。	・患者満足度が上がるような接遇に取り組む。 ・検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する。	○	接遇では患者への挨拶・積極的な声掛け等を心掛けた。新型コロナウイルス5類転向に伴い、PCR検査・定量検査(30分)から定性検査(10分)に切り替え、結果報告までにかかる時間が大幅に短縮できた。

令和5年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・自己研さんに励み、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。 ・おいしく、安全で、満足度の高い食事を提供する。 ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を心がける。 ・実践しやすく、継続しやすい栄養食事指導を行う。 ・互いに認め合い、協力し、高め合う職場環境づくりに取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた安全で衛生的な食事の提供 ・食事アンケート、残菜調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と、異物混入、誤配膳等のインシデントの発生防止 ・患者の意見を献立に反映させた、満足度の高い食事の提供 ・食品ロスの削減に努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒を発生させることなく安全な食事を提供した。 ・インシデント発生防止のために、最終トレーチェックのダブルチェックを徹底した。 ・食事アンケートを令和5年8月と令和6年2月に行った。残菜調査を毎食実施した。 ・食事アンケートや残菜調査の結果、検食簿の意見を参考に、献立や使用食材の見直しを行った。患者の意見を反映させた満足度の高い食事の提供に努めた。 ・食品ロス削減のため、料理の作りすぎ防止と喫食率の高いメニューの導入に努めた。
栄養食事指導 (個人指導)	主治医や他院からの依頼による入院栄養食事指導と外来栄養食事指導	患者の社会背景を勘案し、実践しやすく継続しやすい食事計画の提案に努める。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、患者の生活条件、嗜好を勘案し、実践しやすく、継続しやすいものになるように努めた。 ・指導方法の工夫や、指導資料の改善を行い、よりわかりやすく、効果的な指導になるように努めた。

<p>栄養食事指導 (糖尿病教室)</p>	<p>糖尿病患者に対する集団栄養食事指導</p>	<p>患者同士の交流を大切にし、実践形式を取り入れた指導を行う。</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響でしばらく中止していたが、今年度は7月と12月に実施した。 ・実際の症例の紹介や継続しやすい食事療法の紹介など、患者が興味を持ちやすい内容になるように心がけた。
<p>入院患者の 栄養管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種と連携し、入院患者の栄養状態のスクリーニング、栄養管理計画書の作成、定期的な評価の実施 ・栄養管理チーム会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者個々の栄養状態を把握し、問題がある場合は、最善の栄養療法を提案できるように努める。 ・月1回、他職種と栄養管理チーム会議を実施し、低栄養患者の症例検討を行う。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全ての入院患者に対し、入院時の栄養スクリーニング、アセスメントを行い、対象者には栄養管理計画書の作成、定期的な評価を行った。 ・患者や他職種のスタッフともコミュニケーションをとり、一人ひとりの入院患者に対しきめ細やかな栄養管理ができるように努めた。 ・月1回、他職種のメンバーと栄養管理チームの会議を行い、症例検討を行った。